

都市環境デザイン会議 in 勝山 2013

日時：2013年11月23日（土・祝）
会場：勝山市教育会館ほか（福井県勝山市）
参加者：小見直樹、荘司洋文、島津勝弘、柳原恭順、小泉普、小間井孝吉、高田実、徳本修一、道地慶子、新田川貴之、福塚正浩、埜正浩、内村雄二、川上洋司、倉橋宏典、玉森慶三、辻隆治、峠岡伸行、中澤俊、他27名

● フォーラム「勝山のまちづくり」 ～世界で9番目にクリーンなまち エコミュージアムのまち 恐竜のまち「勝山」～

- 発表1「エコミュージアムについて」
玉木 憲治氏（勝山市エコミュージアム協議会会長）
- 発表2「景観計画と実績について」
藤澤 和朝氏（勝山市都市政策課）
- 発表3「勝山市の都市マスタープランなど計画策定について」
辻 隆治氏（㈱サンワコン地域計画部長（JUDI 会員））
- コーディネーター
内村 雄二氏（福井工業大学教授（JUDI 会員））
- コメンテーター
川上 洋司氏（福井大学教授（JUDI 会員））



フォーラム「勝山のまちづくり」における会場の様子

フォーラムは、北陸ブロック幹事の島津勝弘氏の挨拶及び今回のフォーラムをご後援いただいた勝山市建設部都市政策課長の渡辺寿彦氏のご挨拶から始まりました。コーディネーターの内村先生が、勝山市の位置や周辺市町との関係、地域資源とネットワークの概念などについて説明され、勝山のまちづくりに関する3つの発表ののち、参加者からの質問、コメンテーターの川上先生からのコメント等をいただきながら進行されました。

発表は、玉木氏が「ふるさとルネッサンスによるまちづくり 10年の歩みとこれから」と題し、エコミュージアム協議会の組織構成や具体的な事業展開について、藤澤氏が景観計画策定までの経緯と、歴史的まちなみ景観創出事業や屋外広告物除去事業、都市再生整備計画事業等の実績について、辻氏が勝山市の都市マスタープランの今昔物語として、時代背景も含め新旧のマスタープランの違いや特徴的な取り組みについてと、三者三様、様々な視点による発表内容でした。

<参加者からの質問及び川上先生のコメント>

- ・本町通りや平泉寺地区において、景観のルールや基準をつくっているのか。住民合意によるものか。
⇒景観協定に改修の方針などを盛り込み、住民及び地権者を合わせ8割以上の同意は得ている。
- ・勝山市のように2～3万人の都市で規制誘導をする必要があるのか。スポット的なところを磨き、商業系の開発もウェルカムでよいのではないか。
⇒全体をコントロールすることでスポット的なことが生きてくる。勝山市民が自分たちで頑張ることを望んだ結果だと思う。
- ・勝山市では「エコミュージアム」というコンセプトをいち早く取り入れ、活動を展開してきたことが大きなポイントであり成果である。総合計画や都市マス、景観計画を検討するうえでも共通のコンセプトとして「エコミュージアム」があり、まちづくりの構図、方向性をしっかりとさせている。
- ・石川栄耀先生が言われる名だたる都市の条件に、勝山市はほぼすべて当てはまり、特に次の世代に継承しなくてはという市民の意識が強い。地域に誇りを持った構想を掲げる地方都市が、日本の再生に結びつくと思われるが、勝山はそのモデル都市となり得るスタートラインに立っている。



コーディネーターの内村先生、コメンテーターの川上先生、パネリストの玉木氏、藤澤氏、辻氏（左から）

● 現地踏査(旧市街地の景観整備・酒蔵見学)

日時：11月23日(土・祝) 13:00~14:30

場所：勝山市内

現地踏査では、一本義酒蔵を見学のあと、勝山藩主小笠原家の菩提寺「開善寺」や災難よけの常夜灯「金燈籠」、坂井市まで断続的に見られ「七里壁」と呼ばれる段丘崖、伏流水が湧き出る「大清水源泉」、勝山左義長まつりの舞台となる「やぐら会館」などを、ボランティアガイドの本田さんのご案内により見学しました。



一本義久保本店



小笠原家菩提寺「開善寺」



段丘崖「七里壁」



まちなかに整備された「大清水源泉」

● 懇親会

日時：11月23日(土・祝) 18:00~

会場：料亭「谷よし」

恒例の懇親会では、JUDI メンバー18名とフォーラムでパネリストをしていただいた玉木氏、今回のフォーラム開催にご尽力いただいた勝山市役所より2名の方にご参加いただき、勝山の地酒や旬の料理を楽しみながら大いに盛り上がりました。

代表幹事の玉森慶三氏からは、今期承認されたJUDI プロジェクト8件についての内容と来年度の全国大会が北海道ブロック担当で実施されること、中澤俊氏からは、北陸ブロックのJUDI プロジェクト「自転車の似合うまちづくり—白山市鶴来における実験的試み—」について、11/9(土)に鶴来において実施された内容を含め報告されました。

また、2014年春開催のブロック総会及びフォーラムは、5/17(土)~18(日)に新潟県内にて開催することを決定し、具体的な開催場所及び内容についての検討を今回参加のJUDI 新潟メンバー(小見直樹氏、荘司洋文氏)にお願いしました。



谷よしでの懇親会の様子



倉橋氏(JUDI 福井)による手締め

● エクスカーション

日時：11月24日(日) 9:00~11:00

場所：平泉寺地区

参加者：小見直樹、荘司洋文、島津勝弘、小泉普、小間井孝吉、高田実、徳本修一、道地慶子、福塚正浩、埜正浩、川上洋司、倉橋宏典、玉森慶三、辻隆治、中澤俊、他1名

エクスカーションでは、国史跡白山平泉寺旧境内を見学しました。平泉寺の名前の発祥の地ともいわれる「御手洗の池」やかつては三十三間拝殿が建ち、今は、その柱を支えていた礎石が残る「拝殿」、坊院跡の「門や土塀」が当時の姿に復元され、東西に貫通する「中世の石畳道」が発掘されている南谷三千六百坊跡などをご案内いただきました。



平泉寺白山神社「拝殿」



発掘された「中世の石畳道」



名前の発祥の地「御手洗の池」



当時の姿に復元した「門・土塀」

●北陸ブロックの今後の活動予定

◇都市環境デザイン会議in新潟

日時：2014年5月17日(土)~18(日)

会場：新潟県内(予定)

【お問合せ先】

都市環境デザイン会議北陸ブロック

幹事 ● 島津勝弘(島津環境グラフィックス)

事務局 ● 埜正浩・高永智恵(株)日本海コンサルタント

TEL 076-243-8281/FAX 076-243-8309

E-mail m-rachi@nihonkai.co.jp

JUDI 北陸ブロックホームページ

<http://www.judi-hokuriku.gr.jp/>

JUDI 北陸ブロック Facebook ページ

<http://www.facebook.com/judi.hokuriku>